

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	レーザー型 3D 体表面検出装置を用いた肺深吸気停止照射患者に対する吸気量の再現性向上のための研究
研究責任	聖隷浜松病院 放射線部 大西加寿己
研究実施体制	聖隷浜松病院 腫瘍放射線科部長 野末 政志 聖隷浜松病院 放射線部 村木勇太 聖隷浜松病院 放射線部 齋藤龍典
研究期間	2023 年 10 月 18 日 ～ 2 年間
対象者	聖隷浜松病院 腫瘍放射線科において TrueBeam を使用した肺の深吸気停止照射を実施する患者さん
研究の意義・目的	放射線治療装置を使用し肺深吸気停止照射にて治療を行う患者さんは、計画 CT 撮影時にレーザー型 3D 体表面検出装置で体表面の情報を取得し息の吸い方と吸気量を確認しています。そして、放射線治療時には計画 CT 撮影時の吸気量を再現するため計画 CT 撮影時に取得した体表面情報を基に呼吸指導を行っています。放射線治療時には毎回位置確認の為に深吸気停止の状態で CBCT 画像を撮影します。このとき放射線治療時に撮影された CBCT 画像から肺腫瘍の位置と吸気量の関係を調べ計画 CT 撮影時の吸気量の再現性が向上するような方法を検討することで、より高精度な深吸気停止照射を行えることが期待されます。
研究の方法	放射線治療装置を使用した肺の深吸気停止照射を実施する患者さんに対して計画 CT 撮影時に体表面検出装置で取得した体表面情報を基に呼吸指導を行い、放射線治療時に撮影した CBCT 画像から肺腫瘍の位置と吸気量の関係を調べます。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 放射線部 (氏名)大西加寿己 TEL:053-474-2222(代表) 放射線部 9:00~17:00 平日